

《 会計課 平成30年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

会計管理者 堀田 智恵子

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

- ・会計規則等に基づく適正な会計処理確保のため、書類審査等を通して書類の作成指導を行うとともに、研修会を開催し事務担当者の育成に努めます。
- ・会計課の審査業務や手続きの軽減を図るため、会計業務のアウトソーシングに向けた取り組みを進めます。

【重点事項】

- ◆会計事務のアウトソーシングに向けた検討や取り組みを進めます。
- ◆公金の出納や保管について、適正な会計事務を行います。

【健幸都市づくりの推進に向けた考え方、主な事業】

【見 積】平成30年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		平成30年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	25,495	25,495	公金の出納や保管など、適正な会計事務を行うための予算を見積もります。
合 計	25,495	25,495	

【前年度】平成29年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	29,389	29,389	
合 計	29,389	29,389	

【増 減】(【見 積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	▲ 3,894	▲ 3,894	○公金収納事務委託業務の導入に伴う初期費用の減 ○公金収納事務委託に伴うOCR機器のリース契約終了に伴う減
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	▲ 3,894	▲ 3,894	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	事業概要	
		一般財源	
会計管理費	25,495	25,495	○地方税共通納税システムの導入に対応できるよう、公金収納システムの改修を行います。(432千円)

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
会計課	11,246	11,678	▲ 432			0	○地方税共通納税システム対応に伴う公金収納システム改修に伴う増
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	11,246	11,678	▲ 432	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

業務の効率化を図るため、会計事務のアウトソーシングに向けた取り組みを進めています。